

## 題材名 アップサイクルをしよう

第2学年「B衣食住の生活」B(5)ア、イ C(2)ア

### 1 題材の目標

- (1) 製作する物に適した材料や縫い方、自分の生活が環境に及ぼす影響について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。
- (2) 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての問題を見いだして課題を設定し、工夫を考え、実践を評価し、改善する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

### 2 題材について

本題材は、新学習指導要領「B(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」に「C(2)ア 消費者の権利と責任」を合わせた内容である。生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題をもって、製作するものに適した材料や縫い方についての知識及び技能を身に付け、資源や環境に配慮してアップサイクルを生かした製作計画を考え、製作を工夫することができるようにすることをねらいとしている。

アップサイクルとは、リサイクルやリユースとは異なり、新しいアイデアを加えることで今まで使用していたものを生まれ変わらせるという意味がある。本実践校は2つの小学校から生徒が集まっているが、製作したものは学校ごと違い、また、それを現在まで活用している生徒は少ない。今回は小学校の時の製作や作品を振り返り、自分が使いやすく、生活が豊かになるようアップサイクルし、その活用を目指す。

この題材を通して、持続可能な社会に向けて、資源や環境に配慮した製作を工夫することで、ものを大切にしようとする態度を育てていきたい。

### 3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製作するものに適した材料や縫い方、自分の生活が環境に及ぼす影響について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、工夫を考え、実践を評価し、改善する力を身に付けている。	よりよい衣生活の実現に向けて、資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 指導と評価の計画（全7時間）

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○資源や環境に配慮した豊かな生活を送るために工夫できることを考え、課題を設定する。 ・小学校で行った製作実習を振り返り、課題点を見付ける。 ・衣服のその後の行方や環境に配慮した企業の取り組みについて考える。 ・アップサイクルの視点から、課題を設定し、工夫点を考える。	①自分の生活が環境に及ぼす影響について理解している。 【ワークシート】	題材全体を貫く課題 ①資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作についての問題を見いだして課題を設定している。 【ワークシート、ポートフォリオ】	
		<b>ポイント2</b> 持続可能な社会に向けて、長く大切に使えるアップサイクル作品を作る		
2	○アップサイクルを生かした製作計画や製作について考え、工夫することができる ・生活を豊かにするアップサイクルの取り組みについて知り、不要になった衣服や布の活用方法を考える。 ・製作計画を立てる。		②資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画について考え、工夫している。 【ワークシート】	①資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【ポートフォリオ】
3	○計画を見直し、製作に必要な用具の使用方法について理解する。 ・グループごとにアドバイスをしあい、計画の見直しを行う。 ・ミシンの使用前点検、使用後の手入れとしまい方、簡単な調整方法について確認する。	②製作するものに適した材料や縫い方、製作手順について理解しているとともに適切にできる。 【行動観察、作品、ワークシート、ペーパーテスト】		
4	○生活を豊かにし、課題を解決するものの製作を行う ・計画に沿って製作をする。	③ミシンの簡単な調整方法や布に応じたミシンの使い方について理	③資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作について実	

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決方法や進捗等について計画を見直す。</li> </ul>	<p>解しているとともに適切にできる。 【行動観察, 作品, ワークシート, ペーパーテスト】</p> 	<p>践を評価したり, 改善したりしている。 【ポートフォリオ】</p> 	<p>②資源や環境に配慮し, 生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【ポートフォリオ, ワークシート】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品カードを作成し, 自己評価をする。</li> </ul>			
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品について発表するとともに, 持続可能な社会に向けて自分ができることを考えることができる。</li> <li>・作品展示において, 付箋を使用した相互評価を行う。</li> <li>・製作を振り返り, 持続可能な社会の視点から自分ができることを考える。</li> </ul>		<p>④資源や環境に配慮し, 生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作計画や製作に向けての課題解決に向けた一連の活動について, 考察したことを論理的に表現している。 【ワークシート】</p>	<p>③よりよい衣生活の実現に向けて, 資源や環境に配慮し, 生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作について工夫し創造し, 実践しようとしている。 【ポートフォリオ, ワークシート】</p>

## 5 製作について

**ポイント 1**

**ポイント 2**

生徒は, 小学校で製作した作品を持ち寄り, 思い出話に花を咲かせるとともに, なぜ現在活用していないのかを考えた。すると「曲がったりしている」「上手にできなかった」「持ち手がとれそう」など技能面の問題や「細かいものが入らないので使いづらい」「今は別のもの使っているので使用していない」など活用面での問題がでてきた。小学校での課題やアップサイクルの視点を踏まえて, 環境や資源に配慮した持続可能な社会に向けて, 「長く大切に使える作品を作る」という課題を生徒と設定した。小学校の作品がなかったり, 別のものでアップサイクルしたい場合はそれも可とした。小学校のジャージやいろいろな端切れなどを使用して製作する生徒もいた。

☆製作計画を立てよう！(例)

作品名	便利なポケット付きトートバッグ	
自分の課題	・いらなくなった布を無駄なく使い, ポケットを作る。	
課題設定の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の時に作ったトートバッグが壊れてしまっていて, マシンのでの縫い方が甘かったとわかったから補修をして長く使えるようにしたい。</li> <li>・普段使っている鞆箱を持ち運ぶのが面倒なので, 学校の授業用の鞆箱用を入れるポケットが必要だと感じたから。</li> </ul>	
課題解決のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マシンでまっすぐに縫ってトートバッグの補修をする。</li> <li>・トートバッグの内側に鞆箱用が入るような大きさのポケットを付ける。</li> </ul>	<p>&lt;他の人のアドバイス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縫い目を表にだしたくない場合はまっすぐに縫い縫い</li> <li>鞆箱用真の大きさを確かめてからポケットの布を切ったほうがいい</li> </ul>
製作に必要な用具と材料	<p>&lt;用具&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縫製道具</li> <li>・マシン</li> <li>・アイロン</li> </ul>	<p>&lt;材料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トートバッグ</li> <li>・いらなくなった布(布)</li> <li>・ボタン</li> </ul>
製作手順	<p>&lt;必要な縫い方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①トートバッグの補修箇所の確認をする</li> <li>②マシンを用いて補修を行う <ul style="list-style-type: none"> <li>・丈夫になるように2重に縫っておく。</li> </ul> </li> <li>③ポケットを付ける <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケットの付け方を確認する。(教科書P107)</li> <li>・入れるもの大きさに合わせて布を裁断する。(ぬいしる, 中とりも考える)</li> <li>・マシンと手縫いを用いてポケットを付ける。(ポケット口は見えないようにまっすぐに縫いをする)</li> </ul> </li> <li>④アイロンをかける</li> </ul>	

6 評価について

**ポイント 3**

製作する作品の前後や他に使用した端切れ等の写真を記録することで学習活動の過程や成果の評価を充実させることができた。また、今回は使用できなかったが、タブレット等でミシン縫いや手縫いの様子を動画撮影しておくことで、一人一人の技能の程度やニーズに対応でき、指導に生かすことができる。

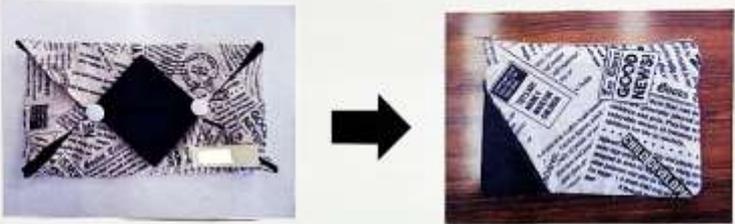
計画表や振り返りのワークシートと合わせて、自分の言葉で記入したり、写真を貼って比較したりすることで、「アップサイクル」の語彙の意味を実感をもって理解させることができる。

ティッシュケースは使うチャンスがなく放置していたのでこれを使って小物入れにすることができてよかった。しかし、ティッシュケースについていたボタンは使用できなかったため、とっておいて別の作品に使いたい。  
(ポートフォリオの記述より)

前

→

後



作品名

<b>作品の使用方法</b>	音楽の移動教室に持っていくカバンに入れる。お土産を入れたり
<b>課題の解決方法</b>	<p>&lt;工夫したところ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジーンズで裏側、ボタンを入れたところ</li> <li>・ジーンズで裏側はしき、縫く必要ないようにした</li> <li>・チークを付け、使いやすとしたこと</li> </ul> <p>&lt;友達からのアドバイスで参考にしたところ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボタンを入れる</li> <li>・糸の色を合わせるようにする</li> </ul>

「主体的に学習に取り組む態度③」について、評価規準から、ポートフォリオの記述とワークシートの記述等から評価した。ワークシートの課題の解決方法の工夫やポートフォリオの次への実践へ生かしたいことを記入していることから上記の生徒は「おおむね満足できる」状況（B）と判断した。

	評価規準	評価方法	十分満足できる状況（A）	おおむね満足できる状況（B）	努力を要する状況（C）と判断した生徒に対する手立て
主体③	よりよい衣生活の実現に向けて、資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いたアップサイクルの製作について工夫し創造し、実践しようとしている。	ポートフォリオ ワークシート	よりよい衣生活の実現に向けて、他の生徒等の意見を参考に、課題解決の方法を工夫しているとともに資源や環境に配慮した実践したい具体的な内容や行動について記述している。	よりよい衣生活の実現に向けてアップサイクルの製作について課題解決の方法を工夫し、これからの実践に生かしたいことを記述している。	これまでの学習のワークシートやポートフォリオ、友達の作品等を示し、実践できそうなことを考えられるように助言する。

【その他の作品例】

